

# 第10回 中央区自治協議会 会議概要

開催日時	令和3年2月26日（金曜）午後3時から午後4時15分まで
会場	新潟市民プラザ（NEXT21 6階）
出席者	<p><b>委員</b></p> <p>日野浦委員、玉木委員、外内委員、板井委員、高田委員、加藤委員、渡邊（紘）委員、青山委員、樋口委員、中野委員、三膳委員、大竹委員、田村委員、竹田委員、三國委員、飯田委員、田辺（龍）委員、宮本委員、佐藤委員、目黒委員、小沢委員、渡邊（隆）委員、松山委員、高取委員、田邊（裕）委員、西潟委員、河端委員、梶委員、松川委員、後藤委員、藤瀬委員、島津委員、桐生委員</p> <p>出席 33名 欠席 5名 （高橋委員、塩野委員、前川委員、小野塚委員、知野委員）</p> <p><b>事務局・説明者</b></p> <p>[新潟市]高齢者支援課長、地域医療推進課長 [新潟市教育委員会] 中央図書館長、中央公民館館長代理 [中央区役所] 区長、副区長、窓口サービス課長補佐、健康福祉課長補佐、保護課長、建設課長、南出張所長、地域課長、地域課長補佐</p>
議事	<p>1 開会</p> <p>○ 会議の成立について 委員 38名中 33名出席のため、規定により会議は成立</p> <p>（議長＝外内会長）</p> <p>2 議事</p> <p>（1）中央区自治協議会 第8期委員改選について（資料 議1）</p> <p>○ 中央区自治協議会委員推薦会議の渡邊座長より、各団体と区長推薦枠の推薦者について説明がありました。また、公募委員については、応募者5名のうち、2名を選考したことについて報告があり、委員推薦名簿（案）のとおり承認されました。</p> <p>（2）新潟市都市計画マスタープラン区別構想（中央区）の策定について（意見聴取結果）（資料 議2）</p>

○ 外内会長より、先月の全体会議の発言を含め、3名の委員から5件の質問、意見があったと報告がありました。

○ 建設課長より、それぞれの質問、意見に対する回答がありました。

小沢委員からの「前回のプランと大きく変わった点を示してほしい」という意見については、前回のプランでも「都心の活性化や新潟駅周辺地区の整備」「基幹公共交通軸の形成やまちなか住居、景観に配慮した町並み」などを掲げており、今回のプランと大きな方針は変わっていないこと、この10年での動向を踏まえ、地区ごとのまちづくりも重視することを今回は加えていると回答がありました。

二つ目の、「前回のマスタープランで書かれたものが、実現したのかどうか評価を示してほしい」という意見については、新潟駅周辺整備事業をはじめ鳥屋野潟の整備、ミズベリングなどの信濃川の水辺空間の活用など、さまざまな取組みがこれまでなされており、目指す区づくりの方向へ前進したと回答がありました。

外内委員からの「人口が増加傾向にあると記載されているが、平成27年の区人口と、令和2年末時点の推計人口とを比較すると人口は減少している。増えたが減ったで大きな違いとなってくるがどのように考えるか」という意見について、平成27年国勢調査に基づく区別の将来人口推計では、令和2年度をピークに中央区でも緩やかに人口減少傾向に入ることから、そのことを追記したいと回答がありました。

二つ目の、「各種データは、基準日を統一したほうがいいのではないか」という意見については、それぞれ最新の統計調査結果を用いているものの、統計調査の実施年度に違いがあることから、一致させることは難しいと回答がありました。

西潟委員からの「区づくりの方向性の『(1) 魅力にあふれ、交流が生まれる拠点のみなとまち』の取組みに、『人口密度が高く、主要な中枢機能が集積していることから、さらに災害に強い都市づくりを目指します。』と追記したらどうか」という意見については、全体構想の中で、災害リスクに備えた都市整備や救援代替機能の強化などを掲げるとともに、区別構想では、(2)の中で地区の実情に合わせた防災・減災を進めることとしており、西潟委員の指摘する趣旨は掲載されていると考えているが、「安心して暮らせる」を「災害に強く安心して暮らせる」に修正したいと回答がありました。

・外内会長より、国勢調査にこだわるのはわかるとして、現実には人口が減少しているのに、「増加している」という文言の書き方はいかななものか、そこから派生してくる今後の組み立てというのは違ってくるのではないかという旨の意見がありました。建設課長より、説明した将来人口

推計では、令和 2 年度からは中央区でも緩やかに減少傾向になるが、区づくりの方向性については変わらないという認識から、全体的な構成についてお配りした資料のとおりとしたい旨の回答がありました。

- ・松川委員より、川そのものと船を活用し、観光だけでなく通勤通学にも使えるようにするなど、もっと活用してもらいたいと意見がありました。建設課長より、貴重な意見として検討させてもらいたいと回答がありました。

(3) デイサービスセンター早川町の閉鎖検討について（意見聴取結果）（資料議 3）

- 外内会長より、先月の全体会議の発言を含め、3 名の委員から 4 件の質問、意見があったと報告がありました。

- 高齢者支援課長より、それぞれの意見に対する回答がありました。

高橋委員からの「健診に来た親子とシルバーハウジング早川町などの住人との交流の場として活用できれば」という意見については、今後、中央区健康福祉課とともに検討していきたいと回答がありました。

二つ目に、「地域への説明を丁寧にしてもらいたい」という意見については、今後、説明会等を開催したいと回答がありました。

加藤委員からの「大切な事案については必ず文書による地域への説明を徹底してほしい」という意見については、今後、文書回覧などしていきたいと回答がありました。

日野浦委員からの「施設閉鎖のタイミングがよくないのではないか」という意見について、以下の三つ理由を挙げ、それぞれ回答がありました。

一つ目の、「介護保険サービスの需要増加が予想される」については、デイサービスセンターだけでなく、小規模多機能型居宅介護など、ほかのサービスを含めて需要の増加に対応できるよう整備を進めていると回答がありました。

二つ目の、「受入施設に負担がかかることから受入数の判断が難しいのではないか」については、受入施設数、受入可能人数は、昨年 9 月時点で施設から受け入れできる人数について回答があったもので、大きな負担なく受け入れてもらえるものと考えていると回答がありました。

三つ目の、「平成 30 年度に黒字の報告があるが経営状況の悪化が閉鎖理由なのか」については、直近の 5 か年では、平成 30 年度だけが黒字であり、ほかはいずれも赤字になっており、経営的には苦しいと指定管理者から聞いていると回答がありました。

- ・松川委員より、今回と同様に老朽化、経営不振による公設施設の閉鎖が

続くことで、サービスを必要とする人が受け入れてもらえるのか不安であり、今後の見通しがどうなるのか質問がありました。高齢者支援課長より、デイサービスセンターは、市内に 282 施設あり、その内、公設の施設が 9 施設であることから、十分、余裕を持って受け入れできる体制になっていると回答がありました。

### 3 報告

――委員活動報告――

#### (1) 委員からの報告について

①新潟市犯罪のない安心・安全なまちづくり推進協議会（資料 報1）

○ 後藤委員より、令和2年度の犯罪状況についてコロナ禍の外出自粛による犯罪件数が減少したことや、第5次推進計画における数値目標の達成状況や取り組み状況、重点取り組み事例について報告がありました。

#### (2) 部会からの報告について（資料 報2-1 2-2 2-3 2-4）

○ 「第1部会」樋口部会長、「第2部会」大竹部会長、「第3部会」後藤部会長、「第4部会」佐藤部会長より、各部会の開催概要及び検討内容について報告がありました。

#### (3) 新潟市自動体外式除細動器（AED）貸出事業の廃止について

（資料 報3）

○ 前回、高橋委員より今年度廃止されるAED貸出事業について、継続してもらいたいとの意見があったことを受け、担当課より報告がありました。

○ 地域医療推進課長より、本事業は市民に認知度・関心度を高めてもらうこと、公共・民間団体企業等に各施設へのAED設置を促進することを目的として、平成20年度より実施しており、市内公共施設等への設置が増加し、事業目的である一定の普及が図られたということで、令和2年度末で貸出事業を廃止することとなったと説明がありました。中央区内の公共施設や民間事業者の設置件数を合わせると、901件。市全体では2,540件となっているとのこと。

貸出事業廃止後については、レンタルまたは購入に際し、地域活動補助金の利用が可能な場合があるため担当の地域課に相談してもらいたいと説明がありました。

また、救命に関しては「にいがた救命サポーター制度」があり、救急時に登録事業者から AED を届けてもらう、または貸し出してもらう制度もあり、1,511 の施設が登録していると説明がありました。

- ・高取委員より、救命サポーター制度のホームページに登録事業者の住所・電話番号を掲載することや登録事業者は分かりやすくステッカーを大きくすること、活動を広く広報してもらいたいと要望がありました。地域医療推進課長より、にいがた救命サポーター制度は消防局の所管であるため、今後消防局との話し合いの中で意見を伝えたいと回答がありました。
- ・外内会長より、公共施設にあるものは従来通り継続となるのか質問があり、地域医療推進課長より、その通りであると回答がありました。
- ・佐藤委員より、レンタル事業者の貸出しは、これまでの貸出実績に間に合うのか質問があり、地域医療推進課長より、民間事業者は増えており、全国的にも何社もあることから数には対応できると思うと回答がありました。
- ・小沢委員より、消防局からの貸し出しもなくなるのか、AED 設置場所はどのように検索して確認できるのか質問がありました。地域医療推進課長より、消防局は以前より貸し出しは行っておらず、県の貸出制度も今年度をもって廃止すると回答がありました。また、検索方法については、「にいがた e マップ」と検索すると確認できると回答がありましたが、小沢委員より、「にいがた e マップ」の検索ワードが知られていないため、「新潟市 AED」とタグをつけたほうが良いと意見がありました。
- ・松川委員より、自分の会社にもステッカーが貼ってあるが、AED がどこにあるのか、使い方も分からない、という状況であるため、使い方の周知などできないか要望があり、地域医療推進課長より、いただいた意見は消防局に伝えると回答がありました。

#### 4 その他

##### (1) 区役所からの案内

- 地域課長より、以下の案内がありました。

##### 【地域で弁当交流応援事業】

地元飲食店への支援のため、割烹や料理店、ホテルなどから購入する弁当代の一部を補助するもの、これまで、宴会と弁当代を補助する制度があったが2月末で終了し、一部内容を見直し、利用対象を企業も含めた営利団体まで拡大して3月から新たに展開すると説明がありました。

##### 【NEXT21・1階アトリウムの展示】

	<p>「中央区×南区 白根の大凧」  疫病退散や医療従事者への感謝をテーマに描いた迫力ある大凧を展示  会期：～3月15日（月）</p> <p>「はじめて、しもまち。パネル展」  しもまちの魅力を発信する「はじめて、しもまち。」の成果品やアーティストの紹介を展示  会期：3月1日（月）～7日（日）</p> <p>「#中央区フォトコンテスト入賞作品パネル展」  800点を超える応募作品の中から入賞作品17点を展示  会期：3月8日（月）～14日（日）  市民プラザミニギャラリーでは3月24日（水）～30日（火）で展示</p> <p>「Furumachi ランチマップの展示・配布」  第1部会で取り組むランチマップを、区づくり事業「アトリウム発にぎわいプロジェクト」の一環で展示するもの  会期：3月1日（月）～31日（水）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐藤委員より、「地域で弁当交流応援事業」について、企業が利用する場合、通常の会議や交際費、福利厚生など利用目的は問わないのか、500個や1,000個など膨大な数でもよいのか質問がありました。地域課長より、数については予算の範囲内であれば対応できると回答がありました。また、利用目的については、事前に相談してもらいたいとのことでした。</li> <li>・外内会長より、「地域で弁当交流応援事業」について、利用条件の1個3,000円（税抜）以上という金額の設定の根拠について質問があり、地域課長より、当初は主に割烹や料亭をはじめとした飲食店への支援から3,000円以上と設定し、引き続き継続していると回答がありました。回答を受け、外内会長より、4,000円の弁当を依頼したところ事業者が用意するのに苦慮したこともあったことから、1,000円でも補助できるように、今後、制度変更するようなことがあれば参考にしてもらいたいと意見がありました。</li> </ul> <p>5 閉会</p>
<b>県議・市議</b>	1名
<b>傍聴者</b>	2名
<b>報道機関</b>	0社